

平城遷都1300年記念 特別陳列

# 平城京発掘

—ここまでわかった奈良の都—



2010年2月6日(土)～3月22日(月・祝)

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  休館日 / 月曜日(ただし、3月22日(月)は開館)  
 入館料 / 大人 400円(350円)、高校・大学生 300円(250円)、小・中学生 200円(150円) (0内は20名以上の団体料金)  
 主催 / 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
 後援 / NHK奈良放送局・奈良新聞社・毎日新聞奈良支局・(財)由良大和古代文化研究協会

平城遷都1300年祭



奈良橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

●T634-0065 奈良県橿原市助徳町50-2 ●Tel 0744-24-1185 ●Fax 0744-24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

# 平城京発掘

—ここまでわかった奈良の都—

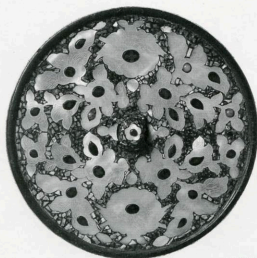
2010年は、平城京に遷都されて1300年目の年にあたります。そして、それを記念して行われる平城遷都1300年祭の行事の一つとして、当博物館においても様々な特別展や特別陳列を開催します。

その第1弾である今回は、テーマとして平城京をとりあげます。平城京は、奈良時代のほぼ全期間を通じて日本の国の首都でありましたが、その実像は数少ない文献の記録や現在も残る地割などから推測するしかありませんでした。しかし今日のようにある程度の姿が復元できるようになったのは、やはり90年近くの歴史をもつ京内の発掘調査の成果と言えます。

今回の展示は、奈良県立橿原考古学研究所が行った最近の発掘調査の成果と出土遺物を中心として、関連する過去の主要な調査や遺物も合わせて検討します。そして、現段階で明らかになっている平城京の姿を幾つかのテーマにしほって紹介します。



平城宮の瓦鬼



平鏡銅背円鏡  
(正倉院宝物指定復元品)



佐保山古墓の三彩壺

**講演会** 橿原考古学研究所講堂にて、午後1時より、聴講無料

第1回/2月28日(日)

「はじめての都市生活—平城京発掘よもやま話—」

森下惠介(奈良市埋蔵文化財調査センター)

「平城京の寺院と宅地」

大西貴夫(当博物館)

第2回/3月14日(日)

「平城京条坊の設計と精度」

入倉徳裕(当研究所)

「平城京と川」

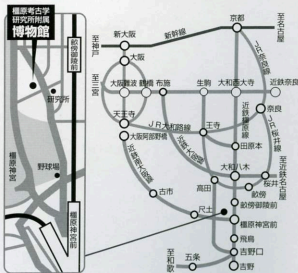
重見 泰(当研究所)

**展示解説** 2月28日(日)、3月14日(日) 特別展示室にて、午前11時より

**通観見学会** 3月6日(土) 「平城京を歩く」  
午前10時、近鉄橿原線尼ヶ辻駅集合、小雨決行、参加無料、申込不要

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA NARA PREFECTURE



- 近鉄橿原線 畷傍御陵前駅下車 西へ徒歩5分
- 近鉄南大阪線 橿原神宮前駅下車 北へ徒歩15分